

天印星

この星は赤ん坊の時代です。赤ん坊の時代は、内面における意識や思考力の所有はありません。また赤ん坊自身は自分がどのような宿命のもとに生れて来たかなどという自覚はまったくないのです。ですから、この星には「無心」「甘受」「ユーモア」「無力の力量」などの表現の世界があります。

この星の世界ほど自分自身が自覚しないままに人の運命を変化させる星は他に例が見当たりません。それは、良きにつけ悪しきにつけ自分の周りにひとつの動きを無意識のうちに作り出してしまうという特色があるのです。(つまり子供の可愛さに引かれ父親の働きに拍車がかかったり、成人すれば人ととの間に和をつくりります。)

しかし、ときには作り出したご縁が悪い方へ転じることもあるでしょうが、ユーモラスな性情が悪気のない粗忽(そつ)さとなるため、他人から恨まれることがないのは天性の福徳ともいえるでしょう。

また「甘受」という意味合いから、どのような人とも上手に交際できるという受け身の社交性をもちます。このような受け身の世界は常に現実的であり、過去に向かって思い出に頼ることもなく、未来に進んでロマンに生きるのではなく、常に現実のみをみて受け身の姿勢を崩さず自然体のままに生きて世渡りをする世界なのです。

なお、この天印星には「養子」星という意味があり、そこから長男・長女・一人っ子などの星とも云われている星です。(長男・長女の星、といわれる星には、この天印星のほかにも「天貴星」「天庫星」があります。「天貴星」は、長男長女の役目をする星であり、「天庫星」は先祖の墓守りをする宿命的正当な長男・長女の星とされ、「天印星」のように養子の星という意味からの長男・長女と云う意味では差違がありますが、必ずしも養子になると云うことではありません。女の子で天印星をもっていますと実家とは縁がきれませんし、男の人にこの星があらわれると、配偶者の実家にあって長男の役目を果たすようになります。)

■初年運(人体星図の肩のところに割り出された星で、この位置を算命術では「初元」の場所と言っています。)

生れてから成人に達するまでの初年運をみます。主として子供の頃に現れる性格や希望が現われますが、この星は青年になる迄のものの考え方や性格づけが發揮されるとともに、本人一生の性格として持ち続けられる星でもあるのです。三つ子の魂、百まで…のたとえで子供のころの性格は大人になっても消えるものではありません。

子供らしい子供として誰にでも可愛がられる幼少期を過ごしたはず。学校にあがれば、クラスの人気者なったりして人から嫌われる事のない幼年運の暗示を示しています。もともと天印星は“アイドルの星”と言われている星で、周囲から愛され、注目される星ですから初年期だけでなく、青少年時代も順調である事が暗示されていて、社交性ある青春時代を思う存分楽しむ事になるのです。

●人体星図に天報星が二つ以上出ている人は、

一生を通じて男女をとわず、子宝に恵まれません。もし子供が出来ると、頼りにならない子供になります、特に男の子が出来て、家督を譲る、あるいは財を受け継がせる……となると全てを無くしてしまいかねません。

■中年運(人体星図の左足の位置に割り出された星で、この位置を算命術では「中元」の場所と言っています。)

青年期から壮年期にかけての運勢を算定します。人生のアイデンティティ(役目意識)はここに算出された星から生れます。また職業意識や社会観なども、この星から生まれると云っても過言ではないでしょう。

人間関係に恵まれた中年期が暗示されています。これは幼少期・青少年の時代から引き継がれていますので、「職場に友あり、家庭に客あり」で社交性に磨きがかかり、笑いの多い、豊かな生活がエンジョイできます。

この年代は家庭を持っている年代で、住まいの問題でも落ち着く時期です。それも自力で計画的に安定を計るというより、他から与えられる形での安定です。たとえば両親の援助でマンションを購入するとか、男性なら配偶者の実家の援助で家を建てる……ということが考えられます。

他人との交際・職場での人間関係も順調という暗示を示しています。もしも、愛情問題等で思わぬ邪魔が入ったり、仕事上人間関係で気まずい事が起きたとしても、この星本来が友達や同僚運に恵まれている星ですから、自分一人で解決しようと下手に動いたり、騒がない方がいいのです。周りの人に相談をして行動なさい。

■晩年運(人体星図の右足の位置に割り出された星です。)

晩年期の運勢を算定します。人生の究極においてどのような人間性と悟りが持てるかをこの星で量ります。算命術では、この位置を「本元」とも言いますが、それは人生を生き抜いて来た社会に対する役目や価値を見つけ出す大切な場所という意味からです。

大変恵まれた老後が暗示されています。言いたい放題、やりたい放題。が許される晩年運です。もっとも世話を立場の人には、とても手間のかかる“お年寄り”と言う事になりますが、その我が儘が、許されると言うか憎めないので。この星の性情が働いているせいか、悪い印象を周囲に与えない徳を持った老後。その上、たいへんに子供っぽい、可愛い“お年寄り”になります。